第20回 近畿地区高等専門学校
英語プレゼンテーションコンテスト

The 20th Annual English Presentation Contest

for Colleges of Technology in the Kinki District

開催日： 2026 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）

November 14th (Sat.) – 15th (Sun.), 2026

会　場： 大阪公立大学工業高等専門学校・図書館棟 大ホール

Library Hall

Osaka Metropolitan University College of Technology

主管：大阪公立大学工業高等専門学校

2026年度近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト日程表

月日 時間	11月14日（土）	11月15日（日）
9:00am		
9:30am		受付（受付順にリハーサルを行う） リハーサル（各チーム10分） 10分×5チーム
10:00am		
10:30am		
11:00am	受付（受付順にリハーサルを行う） リハーサル（一人5分） 5分×13人	チーム部門（5チーム） 5チーム×約15分＝75分 タイムキーパー 前半（3チーム）：（　大阪　）（　明石　） 後半（2チーム）：（ 和歌山 ）（　舞鶴　）
11:30am		
12:00pm		
12:30pm		審査集計 昼食・休憩
1:00pm	開会式 ・挨拶、進行説明、諸注意	
1:30pm		閉会式 ・成績発表、表彰、講評 ・記念撮影 解散 審査員への個別質問（講評）時間 （各チーム15～20分程度）※希望チームのみ
2:00pm	シングル部門（13名） 13名×8分＝104分+休憩15分	
2:30pm	タイムキーパー 前半（7名）：（　舞鶴　）（　近大　） 後半（6名）：（　奈良　）（　神戸　）	
3:00pm		
3:30pm		
4:00pm	審査集計	
4:30pm	講評、成績発表、表彰、記念撮影	
5:00pm	交流会（17:00-18:00）	
5:30pm		

出 場 者 名 簿（発表順）

○　シングル部門

順番	高専名	学科（専攻）名	学年	氏　　名		タイトル
1	神戸	都市工学科	5	池田　奏	IKEDA Kana	Hankyu Trains Never Lost to The Great Hanshin Earthquake in 1995.
2	奈良	情報工学科	2	根来　秋帆	NEGORO Akiho	SECURISE – Bring Cyber Security Closer
3	舞鶴	建設システム工学科	1	三好　開斗	MIYOSHI　Kaito	Collaborative Learning with AI　How to Use It Effectively
4	舞鶴	電気情報工学科	5	橋本　さくら	HASHIMOTO Sakura	How Can You Protect Yourself from Scams?
5	大阪	総合工学システム学科	5	竹内　陸人	TAKEUCHI Rikuto	The Festival That Lasts All Year
6	近大	総合システム工学科	4	東出　大輝	HIGASHIDE Taiki	Connecting Agriculture and Information Technology
7	大阪	総合工学システム学科	1	北村　旬都	KITAMURA Shunto	Can BPM Help Us Make Fewer Mistakes?
8	近大	総合システム工学科	3	鳥越　佳乃	TORIGOE Yoshino	A Little Courage to Speak
9	神戸	応用化学科	3	閔　泰昊	MIN Teho	What Are You Afraid Of?
10	和歌山	環境都市工学科	1	鍬塚　ちひろ	KUWAZUKA Chihiro	Nanko Plums and Our Future
11	明石	都市システム工学科	3	濵中　晴南	HAMANAKA Seina	The Path You Didn’t Know Existed
12	明石	都市システム工学科	3	坂本 彩夏	SAKAMOTO Ayaka	Designing Spaces to Heal Urban Loneliness
13	和歌山	環境都市工学科	5	畑　至道	HATA Shido	Lessons from My Grandmother’s Silence

○　チーム部門

順番	高専名	学科（専攻）名	学年	氏　　名		タイトル
1	和歌山	生物応用化学科	2	足立　莉緒	ADACHI Rio	A Drop in the Ocean
		生物応用化学科	2	小澤　結	OZAWA Yui	
		生物応用化学科	2	楠部　香梅	KUSUBE Koume	
2	明石	建築学科	5	松浦　実花	MATSUURA Mika	The Things We Can Do for Rural Areas — Before They Disappear —
		建築学科	5	村部　志帆	MURABE Shiho	
		建築学科	5	松原　維敬	MATSUBARA Tadahiro	
3	舞鶴	機械工学科	2	垣谷　遼	KAKITANI Ryo	Bold and Bald: Breaking the Lookism Barrier
		建設システム工学科	2	越智　湊	OCHI Minato	
		建設システム工学科	2	石井　祐希	ISHI Yuki	
4	神戸	機械工学科	5	中原　伶	NAKAHARA Ryo	Think with AI: How KCCT Students Passed Their Entrance Exams
		機械工学科	5	河波　航平	KAWANAMI Kohei	
		機械工学科	5	林坂　虎一郎	RINSAKA Koichiro	
5	大阪	総合工学システム学科	2	秦　信道	HATA Nobumichi	One Step Closer, Two Steps Ahead
		総合工学システム学科	2	松原　里向	MATSUBARA Rikou	
		総合工学システム学科	2	柳川　翔	YANAGAWA Shou	

審 査 員 名 簿

審査員長	平井　愛（神戸学院大学 共通教育センター 教授）
審査員	Paul Marlowe（近畿大学 経営学部教養・基礎教育部門 准教授）
審査員	Michael Wilkins（関西学院大学 言語教育研究センター 言語特別講師）

運営関係者名簿

１）本コンテスト会長

秋田 成司（大阪公立大学工業高等専門学校長）

２）本コンテスト実行委員会

・実行委員長　松井 悠香（大阪公立大学工業高等専門学校 講師）

・明石工業高等専門学校

教授 John C. Herbert、学生課学生係長 曽根 康介

・和歌山工業高等専門学校

准教授 原 めぐみ、助教 Clare E. Grady、学生課学生係長 小西 香名

・舞鶴工業高等専門学校

准教授 大内 真一郎、助教 任 雅楠、学生課長 田仲 裕一

・奈良工業高等専門学校

准教授 板倉 和裕、学生課長 前原 忠信、学生課主任 松岡 俊男

・神戸市立工業高等専門学校

教授 Mark A. Pileggi、准教授 山本 長紀、講師 飯島 真之、

学生課学生担当係長 佐々木　道子

・近畿大学工業高等専門学校

准教授 奈須 健、講師 Irina Ćošković

・大阪公立大学工業高等専門学校

学務課担当係長 伊藤 斉

３）主管校運営委員

・大阪公立大学工業高等専門学校

講師 松井 悠香、教授（学生主事）西野 達雄、教授 川村 珠巨、准教授 川光 大介、

講師 谷野 圭亮

学務課長 松本 英幸、学務課担当係長 伊藤 斉、学務課職員 阪本 理、藤井 純子

発表者への注意事項

⑴ 次の発表者（又はチーム）、および次々の発表者は、ステージに向かって右手前方の待機席にそれぞれ着席してください。
⑵ 発表の際、原稿を手元に持っておくことは差し支えありません。
⑶ シングル部門の発表時間は５分です。４分経過時にグリーンカード（「残り１分」）、５分経過時にはイエローカード（「残り０分」）を提示して通知します。５分を超えると減点対象となります。なお、６分を超えるとレッドカード（「１分超過」）が提示され、失格となるとともにその時点で発表を中止しなければならないこともあります。
⑷ チーム部門の発表時間は１０分です。９分経過時にグリーンカード（「残り１分」）、１０分経過時にはイエローカード（「残り０分」）を提示して通知します。１０分を超えると減点対象となります。なお、１１分を超えるとレッドカード（「１分超過」）が提示され、失格となるとともにその時点で発表を中止しなければならないこともあります。
⑸ 発表準備は、チームメンバー以外の手を借りずに、１分以内に完了できるようにしてください。発表用ファイルについては、先日、ご提出いただきましたデータを主催校が準備したＰＣに移しておりますので、そちらをご利用ください。

観覧中のお願い

⑴ コンテスト会場では、携帯電話はマナーモードに設定するか、電源をお切りください。
⑵ 発表中の入退室は発表の妨げとなりますので、発表が終わったときの拍手を聞いてから行うようにしてください。
⑶ 観客席からジェスチャー等によって発表者にメッセージを送るような行為は固く禁止します。
⑷ 発表中のフラッシュ撮影はご遠慮ください。

～Single Division～

Sat, November 14th

1 **Hankyu Trains Never Lost to The Great Hanshin Earthquake in 1995.**
Kobe City College of Technology **IKEDA Kana**

2 **SECURISE – Bring Cyber Security Closer**
National Institute of Technology (KOSEN), Nara College **NEGORO Akiho**

3 **Collaborative Learning with AI How to Use It Effectively**
National Institute of Technology (KOSEN), Maizuru College **MIYOSHI Kaito**

4 **How Can You Protect Yourself from Scams?**
National Institute of Technology (KOSEN), Maizuru College **HASHIMOTO Sakura**

5 **The Festival That Lasts All Year**
Osaka Metropolitan University College of Technology **TAKEUCHI Rikuto**

6 **Connecting Agriculture and Information Technology**
Kindai University Technical College **HIGASHIDE Taiki**

7 **Can BPM Help Us Make Fewer Mistakes?**
Osaka Metropolitan University College of Technology **KITAMURA Shunto**

8 **A Little Courage to Speak**
Kindai University Technical College **TORIGOE Yoshino**

9 **What Are You Afraid Of?**
Kobe City College of Technology **MIN Teho**

10 **Nanko Plums and Our Future**
National Institute of Technology (KOSEN), Wakayama College **KUWAZUKA Chihiro**

11 **The Path You Didn't Know Existed**
National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College **HAMANAKA Seina**

12 **Designing Spaces to Heal Urban Loneliness**
National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College **SAKAMOTO Ayaka**

13 **Lessons from My Grandmother's Silence**
National Institute of Technology (KOSEN), Wakayama College **HATA Shido**

○シングル部門

NO.		
1	高 等 専 門 学 校	神戸市立工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	都市工学科 5年
	氏 名（Name）	池田　奏（IKEDA Kana）
タイトル	Hankyu Trains Never Lost to The Great Hanshin Earthquake in 1995.	

（要旨）

1995年、多くの建物を破壊し、6400人以上の命を奪った、未曾有の大災害「阪神淡路大震災」。私の生まれ育った伊丹市では、阪急伊丹駅の駅舎が倒壊するなどの甚大な被害を受けました。阪急電鉄では、伊丹駅以外にも、多くの線路、車両が被害を受け、鉄道網の長期寸断かと思われました。しかし、阪急は甚大な被害のなか、わずか5カ月で運行を再開しました。早期復旧のカギとなった阪急の決断とは。また、そこから学んだ大切な教訓を話したいと思います。

NO.		
2	高 等 専 門 学 校	奈良工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	情報工学科 2年
	氏 名（Name）	根来　秋帆（NEGORO Akiho）
タイトル	SECURISE – Bring Cyber Security Closer	

（要旨）

近年、個人のサイバーセキュリティへの意識不足が、多くの個人情報や機密情報の流出につながり、社会に大きな影響を与えている。そこで私は、学習や対策の障壁となっている費用や時間、面倒くささ等を解消するため、誰もが楽しく手軽に学べる無料のアプリ「SECURISE」を提案する。体験型訓練やチャットでの相談機能、クイズ、さらにガチャ形式でのポイント機能を通じて、サイバーセキュリティを身近なものにし、社会全体の被害の防止につなげることを目指す。

〇シングル部門

NO. 3	高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	建設システム工学科 1年
	氏 名（Name）	三好　開斗（MIYOSHI　Kaito）
タイトル	Collaborative Learning with AI How to Use It Effectively	

（要旨）

AIは学習を効率化する一方、使い方によっては、私たちの思考力や忍耐力を弱める危険性があります。私たちが学習に時間を費やすのは、知識を得るためだけではなく、問題解決力や論理的思考力を養い、自分の能力や努力を示すためでもあります。AIが普及したこれからの社会では、積極的に活用しながらも、学ぶ過程そのものに価値を見出し、自ら考え挑戦し続ける姿勢が重要となるでしょう。

NO. 4	高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	電気情報工学科 5年
	氏 名（Name）	橋本　さくら（HASHIMOTO Sakura）
タイトル	How Can You Protect Yourself from Scams?	

（要旨）

インターネットは、今や生活に欠かせない存在となりました。一方、偽サイトによる詐欺も増加しています。私は、学生サイバー防犯ボランティア活動の中で、あるサイトによく似た偽サイトを発見しました。そこで今回は、それを模倣したサイトを題材とし、詐欺師の目線に立って、詐欺から身を守る方法を考えてみましょう。きっとあなたは、詐欺師が私たちの心理的な隙をいかに悪用しているのかを知ることになるでしょう。

〇シングル部門

NO. 5		
	高 等 専 門 学 校	大阪公立大学工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	総合工学システム学科 5年
	氏 名（Name）	竹内 陸人（TAKEUCHI Rikuto）
タイトル	The Festival That Lasts All Year	

（要旨）

岸和田のだんじり祭は、毎年9月の2日間だけでなく、年間を通じて地域の人々をつなぐ重要な役割を果たしている。祭に向けた準備や練習、地域の清掃活動などを通じて、世代を超えた交流が生まれ、信頼関係が育まれる。こうしたつながりは、日常生活や仕事の場面での助け合いだけでなく、災害時の共助にもつながると考えられている。単なる伝統行事ではなく、地域社会の絆を育み、人々の暮らしを支える大切な存在であるだんじり祭を紹介する。

NO. 6		
	高 等 専 門 学 校	近畿大学工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	総合システム工学科 制御情報コース 4年
	氏 名（Name）	東出大輝（HIGASHIDE Taiki）
タイトル	Connecting Agriculture and Information Technology	

（要旨）

家族の稲作を手伝った経験をもとに、日本の農業が抱える課題と情報技術の可能性について考える。農業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、センサーやAI、ドローンなどを活用したスマート農業が注目されている。一方、高齢者にとって新しい技術の操作は必ずしも容易ではない。そこで、農作業の助言、経験や知識の共有ができる使いやすいアプリを提案し、情報技術による農業支援と次世代への知識継承の可能性を探る。

〇シングル部門

NO.		
7	高 等 専 門 学 校	大阪公立大学工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	総合工学システム学科 1年
	氏 名（Name）	北村　旬都（KITAMURA Shunto）
タイトル	Can BPM Help Us Make Fewer Mistakes?	

（要旨）

エンジニアを目指す私たちにとって、作業中のミスを減らすことは重要である。そのためには、注意するだけでなく、作業環境を工夫することも必要ではないだろうか。そこで本発表では、音楽のテンポを表すBPMに注目した。160 BPM、60 BPM、無音の3つの条件で計算問題に取り組み、作業時間と正答率を比較した。音楽のBPMは、作業の速さや正確さにどのような影響を与えるのだろうか。実験結果をもとに、よりよい作業環境について考える。

NO.		
8	高 等 専 門 学 校	近畿大学工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	総合システム工学科 都市環境コース 3年
	氏 名（Name）	鳥越　佳乃（TORIGOE Yoshino）
タイトル	A Little Courage to Speak	

（要旨）

地域の劇団での活動を通して学んだことについて話す。舞台では自信を持って演技できるが、普段の生活では自分の考えを伝えることが苦手な時もある。しかし、演劇の練習を通して、他の人の意見を聞き、自分の考えを伝えることの大切さを学んだ。この経験は、英語で話す時にも役立っている。間違いを恐れずに話すことで、新しい発見や出会いが生まれることもある。完璧に話そうとするのではなく、少しの勇気を持って自分の思いを伝えることが大切だと伝えたい。

〇シングル部門

NO.		
9	高 等 専 門 学 校	神戸市立工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	応用化学科 3年
	氏 名（Name）	閔　泰昊（MIN Teho）
タイトル	What Are You Afraid Of?	

（要旨）

AIは救世主か⁉パンドラの箱か⁉

今やAIは全能と言えるでしょう。レポートを完璧に仕上げ、ましてや医療分野などでは人間以上の精度を見せる、、、私たちの仕事が奪われている様で踏んだり蹴ったりです。高専に入学してからAIとの付き合い方に随分長く悩んできました。AIはさらに人間を圧倒します。ですが、あなたがAIに全てを委ねてしまう前に、少しだけでも一人の高専生の言葉に耳を傾けてみてください。

NO.		
10	高 等 専 門 学 校	和歌山工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	環境都市工学科 1年
	氏 名（Name）	鍬塚　ちひろ（KUWAZUKA Chihiro）
タイトル	Nanko Plums and Our Future	

（要旨）

「最近、梅の収穫量が減っている」祖母の一言に「このままではいけない」と感じた。地元の特産品・南高梅について調べてみたいと思ったのはその時だ。身近にあるにも関わらず、今まで詳しく調べた経験がなかったが、世界農業遺産としての素晴らしさや環境問題との関係を知り、南高梅への見方が変化した。これらを踏まえ、「知る」という行為は単純に見えるけれど、とても大切だと実感した。その小さな行動が私たちの未来を変えてくれるかもしれない。

〇シングル部門

NO. 11		
	高 等 専 門 学 校	明石工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	都市システム工学科 3年
	氏 名（Name）	濵中　晴南（HAMANAKA Seina）
タイトル	The Path You Didn't Know Existed	

（要旨）

私たちは将来の進路を「何を選ぶか」と考えがちですが、そもそも存在を知らない道は選ぶことさえできません。私は友人から高専を教えてもらったことで、それまで知らなかった進路を知り、現在につながりました。この経験から、未知のものに出会ったとき、すぐに「自分には関係ない」と決めつけず、一度話したり調べたりすることの大切さを考えます。新しい可能性は、大きな決断ではなく、何気ない出会いから始まるのかもしれません。

NO. 12		
	高 等 専 門 学 校	明石工業高等専門学校
	学科（専攻）及び学年	都市システム工学科 3年
	氏 名（Name）	坂本 彩夏（SAKAMOTO Ayaka）
タイトル	Designing Spaces to Heal Urban Loneliness	

（要旨）

現代都市で深刻化する孤独問題に対し、空間デザインによる解決を図る提案である。コロナ渦の東京での孤立感やドイツ留学中にベンチで経験した温かい対話から公共空間が持つ人のつながりを育む力に着目。効率優先の日本都市を少し変えるべく、明石市にて市民参加型でベンチや空間を設計するプロジェクトを進行中である。真の都市工学を通じ、無機質な都市空間を誰もが温かみを感じられる居場所へと変えることを目指す。

〇シングル部門

NO. 13		
	高等専門学校	和歌山工業高等専門学校
	学科(専攻)及び学年	環境都市工学科 5年
	氏 名(Name)	畑　至道(HATA Shido)
タイトル	Lessons from My Grandmother's Silence	

(要旨)

高専で学業や活動に追われ、完璧主義から自分を追い詰めて挫折した私。そんな折、聴覚障害を持ちながらも穏やかに周りを包み込む祖母がそっと寄り添ってくれた。境遇は違えど、どんな状況でも肩の力を抜き自分らしく生きる祖母の姿は、頑なだった心を解きほぐす。祖母の生き様は、完璧さを手放し、ありのままの自分を受け入れて柔軟に生きる大切さを教えてくれる、私にとって大切な人生の道標だ。

～Team Division～

Sun, November 15th

1 **A Drop in the Ocean**

National Institute of Technology (KOSEN), Wakayama College

ADACHI Rio
OZAWA Yui
KUSUBE Koume

2 **The Things We Can Do for Rural Areas— Before They Disappear —**

National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College

MATSUURA Mika
MURABE Shiho
MATSUBARA Tadahiro

3 **Bold and Bald: Breaking the Lookism Barrier**

National Institute of Technology (KOSEN), Maizuru College

KAKITANI Ryo
OCHI Minato
ISHI Yuki

4 **Think with AI: How KCCT Students Passed Their Entrance Exams**

Kobe City College of Technology

NAKAHARA Ryo
KAWANAMI Kohei
RINSAKA Koichiro

5 **One Step Closer, Two Steps Ahead**

Osaka Metropolitan University College of Technology

HATA Nobumichi
MATSUBARA Rikou
YANAGAWA Shou

〇チーム部門

NO.			
1	高等専門学校		和歌山工業高等専門学校
	1	学科(専攻)及び学年	生物応用化学科 2年
		氏 名(Name)	足立　莉緒(ADACHI Rio)
	2	学科(専攻)及び学年	生物応用化学科 2年
		氏 名(Name)	小澤　結(OZAWA Yui)
	3	学科(専攻)及び学年	生物応用化学科 2年
		氏 名(Name)	楠部　香梅(KUSUBE Koume)
タイトル	A Drop in the Ocean		

(要旨)

「A Drop in the Ocean」は、直訳すると「海の中の一滴」を意味し、比喩的には「広大なものの中では取るに足らないほど小さな存在や影響」を表す。この表現は、一人ひとりの小さな行動も、積み重なることで大きな変化につながることを示している。海洋環境の保護においては、日焼け止めに含まれる化学物質、食品廃棄物の不適切な処理、花火に含まれる有害物質などが、サンゴ礁や海洋生物に悪影響を及ぼすことが問題となっている。こうした問題に対し、ミネラル系日焼け止めの使用、食品廃棄物の適切な処理、環境負荷の少ない花火の選択など、日常生活で実践できる対策が提案される。また、海洋が生態系や人間の生活を支える重要な存在であることを踏まえ、一人ひとりの小さな努力が海洋環境の保全と持続可能な未来の実現につながることを強調している。

〇チーム部門

NO.			
2	高等専門学校		明石工業高等専門学校
	1	学科(専攻)及び学年	建築学科 5年
		氏 名(Name)	松浦　実花(MATSUURA Mika)
	2	学科(専攻)及び学年	建築学科 5年
		氏 名(Name)	村部　志帆(MURABE Shiho)
	3	学科(専攻)及び学年	建築学科 5年
		氏 名(Name)	松原　維敬(MATSUBARA Tadahiro)
タイトル	The Things We Can Do for Rural Areas — Before They Disappear —		

(要旨)

集落は、その土地固有の自然環境や産業、文化を反映しながら形作られてきました。しかし、人口減少などによりこうした地域は衰退し、その土地ならではの景観や文化、記憶が失われつつあります。

私たちの研究室では、兵庫県の2つの地域で、その土地の記憶や文化を継承する活動を行ってきました。

竹野では、厳しい自然環境から建物を守るために使われてきた「焼杉板」の風景が、職人の減少や新たな建築材料の普及によって変わりつつあります。失われつつある技術と景観を、未来へ残していくための行動を考えます。

一方、明延では鉱山の閉山をきっかけに人口が急激に減少し、集落が消滅の危機にあります。人口を増やすことが難しい場所で、築かれてきた文化や記憶をどのように繋いでいくかを考えます。

都市で暮らす私たちも、こうした地域に関わる方法があります。失われつつある場所のために、私たちは何ができるのでしょうか。

〇チーム部門

NO.			
3	高 等 専 門 学 校		舞鶴工業高等専門学校
	1	学科(専攻)及び学年	機械工学科 2年
		氏 名(Name)	垣谷　遼(KAKITANI Ryo)
	2	学科(専攻)及び学年	建設システム工学科 2年
		氏 名(Name)	越智　湊(OCHI Minato)
	3	学科(専攻)及び学年	建設システム工学科 2年
		氏 名(Name)	石井　祐希(ISHI Yuki)
タイトル	Bold and Bald: Breaking the Lookism Barrier		

(要旨)

若くして薄毛が進行しつつある高専2年生達が、髪の後退とともに「薄毛」への偏見の後退を提案する。薄毛には否定的なイメージがつきまとうが、その約8割は遺伝で決まり、個人の失敗や怠慢ではない。さらに、他人は私たちが思うほど髪の量を気にしていない。こうした事実から、薄毛への評価を見直す。しかし問題は髪だけにとどまらない。現代社会に渦巻くルッキズムは、気づかぬうちに私たちを縛りつけている。薄毛という身近な悩みを入口に、見た目に縛られない生き方への視点を、笑いを交えて提唱する。

〇チーム部門

NO.			
4	高 等 専 門 学 校		神戸市立工業高等専門学校
	1	学科（専攻）及び学年	機械工学科 5年
		氏 名（Name）	中原　伶（NAKAHARA Ryo）
	2	学科（専攻）及び学年	機械工学科 5年
		氏 名（Name）	河波　航平（KAWANAMI Kohei）
	3	学科（専攻）及び学年	機械工学科 5年
		氏 名（Name）	林坂　虎一郎（RINSAKA Koichiro）
タイトル	Think with AI: How KCCT Students Passed Their Entrance Exams		

（要旨）

本プレゼンテーションでは、大学編入試験に挑戦した3人の実体験をもとに、AIを活用した新しい学習の形を紹介する。私たちは、大阪大学工学部・基礎工学部への同時合格や、約2か月の学習期間での合格など、それぞれ異なる功績を挙げた。その功績は、AIを問題解説、予想問題作成、教科書の理解補助などに上手く活用したことによるものである。したがって、おそらく初めてAIを受験勉強に本格的に利用した私たちの編入体験を通して、情報が少ない編入試験の中で、AIが受験勉強をどこまで支え、学び方をどのように変えたのかを伝える。

〇チーム部門

NO.			
5	高等専門学校		大阪公立大学工業高等専門学校
	1	学科(専攻)及び学年	総合工学システム学科(プロダクトデザイン) 2年
		氏 名(Name)	秦　信道(HATA Nobumichi)
	2	学科(専攻)及び学年	総合工学システム学科(知能情報) 2年
		氏 名(Name)	松原　里向(MATSUBARA Rikou)
	3	学科(専攻)及び学年	総合工学システム学科(知能情報) 2年
		氏 名(Name)	柳川　翔(YANAGAWA Shou)
タイトル	One Step Closer, Two Steps Ahead		

(要旨)

新キャンパスへの移転を控え、私たちは出会いに対して期待と不安の双方を抱いている。高専生は対面でのコミュニケーションが苦手だと思われがちで、実際にその傾向は強い。意識調査が示す対人関係への消極的な姿勢の根本には、失敗や拒絶を恐れて身を守ろうとする「自己防衛」の心理が存在する。自分の殻に閉じこもる行動は、相手を嫌っているのではなく傷つくことを避けるための反応に過ぎない。人と関わる上で、過度に社交的になったり、無理に自分の性格を変えたりする必要はない。相手も自分と同じように緊張や不安を抱えていると理解し、挨拶や笑顔といった日常の小さな一歩を踏み出すことが大切なのだと思う。自分らしさを保ったまま出すほんの少しの勇気が相手の勇気をも引き出し、互いに歩み寄ることで、無理なく自然で円滑なコミュニケーションと新たな繋がりを構築していきたい。

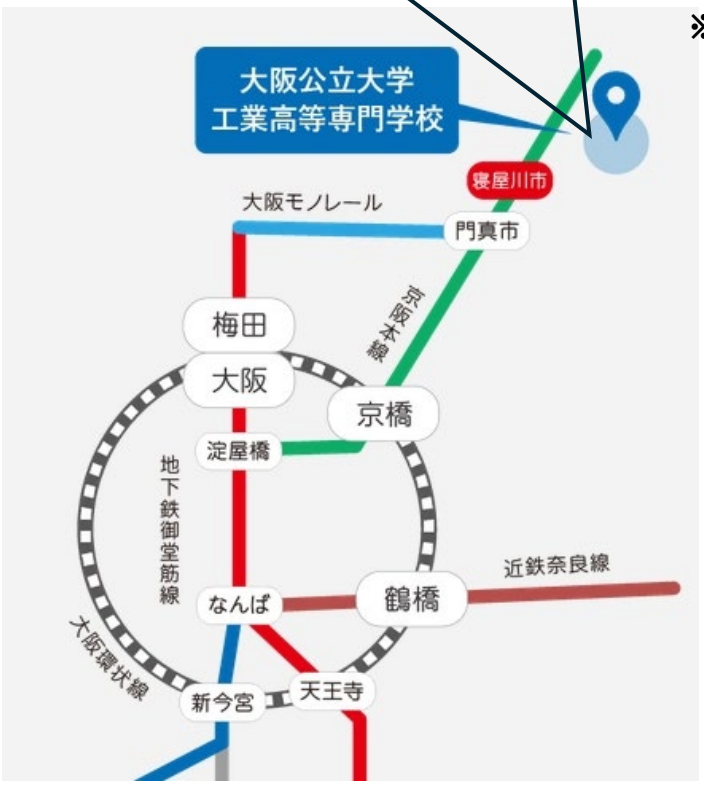
2026 近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト
会場に関するアクセス方法等について

1．交通アクセスについて

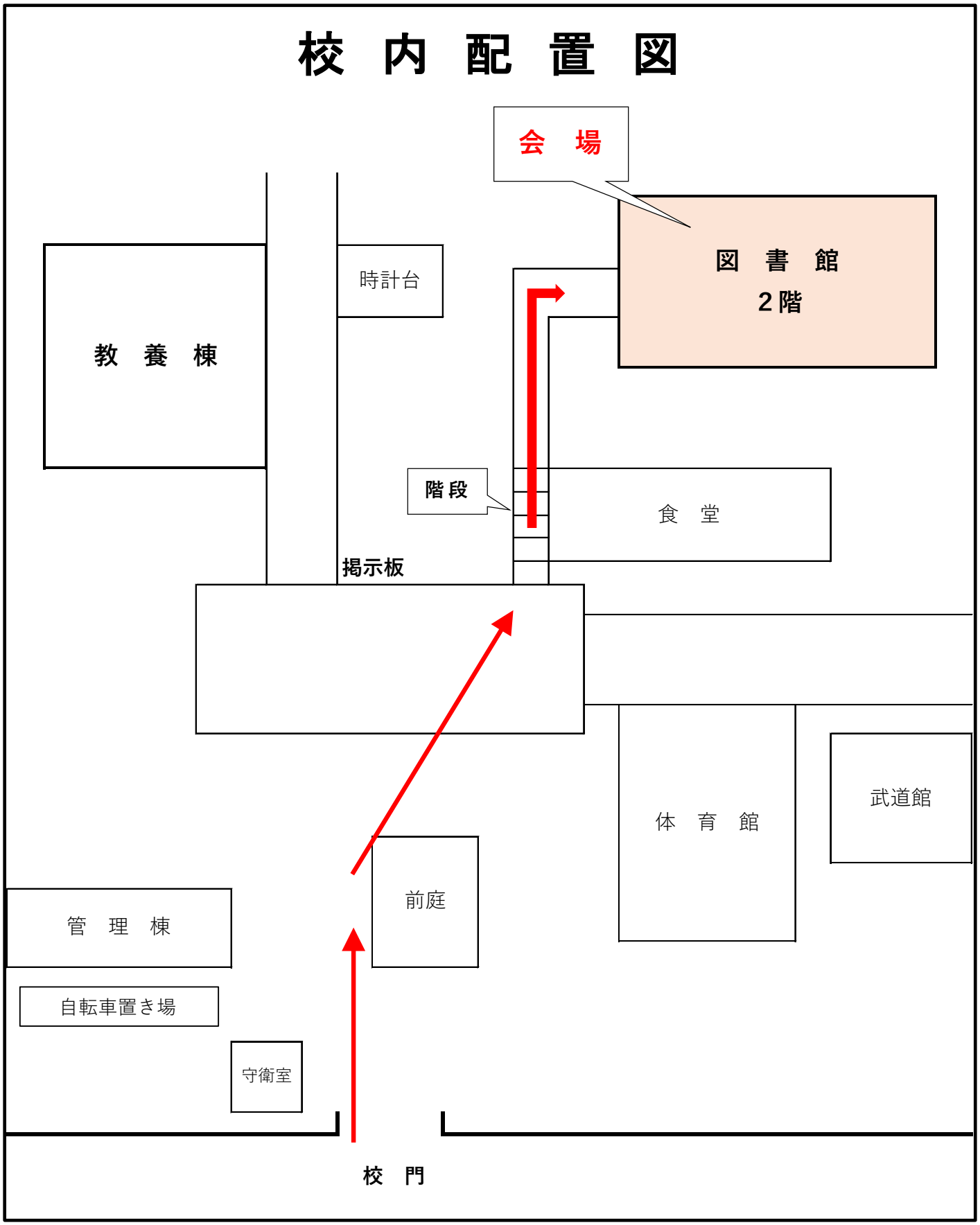


京阪電車　寝屋川市駅　下車

※寝屋川市駅には特急は止まりません。



２．会場への校内経路について



2026年度近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト会場（大ホール）

